

新興国の株式市場や債券市場の規模が拡大しているのはよく知られていますが、近年中国やインドなどアジアの商品先物市場においても取引高が急増し、世界で圧倒的な存在感をみせています。

たとえば、中国国内には大連、上海などに商品取引所がありますが、2000年代半ば以降、取引高が急増。なかでも上海商品取引所は、2010年、商品先物市場の出来高で世界一となりました。

中国の商品取引所には外資規制が設けられているため、現在の取引は主に国内の市場参加者に限定されています。それにもかかわらず、中国がここまでの成長を見せるのは、注目に値します。

さらに上海先物取引所は5年以内に機関投資家や海外投資家を含めた会員の拡大を目指すとして発表しました。外国企業へ門戸を開放することで、世界の投資マネーが集まり、中国市場が商品の国際価格に与える影響はますます大きくなりそうです。

また、インドのインドマルチ商品取引所も近年大きな成長を見せ、2010年には世界の商品先物市場の出来高で6位にランクインしました。

新興国の勢力拡大は商品先物市場にまで及んでいます。

世界の取引所(商品先物)の出来高ランキング推移

(単位：万枚)

2004年		
1位	ニューヨーク商業取引所	13,328
2位	大連商品取引所	8,803
3位	東京工業品取引所	7,445
4位	シカゴ商品取引所	6,879
5位	ロンドン金属取引所	6,717
6位	上海先物取引所	4,058
7位	ロンドン国際石油取引所	3,547
8位	中部商品取引所	3,319
9位	東京穀物商品取引所	2,571
10位	鄭州商品取引所	2,424

2010年		
1位	上海先物取引所	62,190
2位	鄭州商品取引所	49,590
3位	ニューヨーク商業取引所	41,991
4位	大連商品取引所	40,317
5位	ICE Futures,UK	21,568
6位	インドマルチ商品取引所	19,721
7位	シカゴマーカンタイル取引所 (CME、シカゴ商品取引所)	19,122
8位	ロンドン金属取引所	11,244
9位	ICE Futures,US	4,487
10位	ナショナル商品 デリバティブ取引所(インド)	4,019

(出所) FIA